小山町広報 おらが町

発行所
静岡県駿東郡小山町
小山町役場
広報課
編集兼発行人
福田 勲

（毎月1日発行）

創刊号 （昭和34年11月3日発行） 沼津・耕文社印行

創刊のことば

小山町長
鈴木 繁

このたび、町民の皆様の御支援により小山町広報「おらが町」が生まれました。

広く報じ、広く聴く、広報、広聴は、民主政治の基本であり、地方自治体の行政には欠くことの出来ない大切な要素です。

今年の夏頃から発刊の準備をいたしておりましたが、十一月三日が丁度「文化の日」に当っておりますので、この日を創刊の日として発行することなりました。

今後皆様の広報広聴の機関紙として、伸びゆく小山町の実態と皆様の町政に対する御協力のお声をお届けいたします。

どうぞ充分御活用の程をお願い申します。

小山町議会議長
室伏 武

祝 文化の日　みんなで造ろう　住みよい町を

第七号台風による鮎沢川河畔の被害状況

町のニュース

社会教育委員会開かる

さきに任命された本町社会教育委員の初会合は廿二日午後二時より役場二階にて行なわれ、県社会教育主事を交え種々懇談しました。

委員左の通り（順不同）

委員長室伏隆氏　勝俣　昭氏
副委員長瀬戸正春氏　湯山清子氏　遠藤貞茂氏　勝又広基氏
湯山五策氏　米山綱雄氏　岩田暉雄氏　岩田吉蔵氏　池谷仁一氏　勝永治郎氏

産業文化祭開かれる

十一月二十二日から二十四日まで、左記のように小山町産業文化祭が開催されますのでお知らせいたします。

会場　北郷小中学校
主催　小山、北郷、足柄農協
1、農産物品評会
2、養蚕品評会
3、工芸品評会
4、家畜共進会
　乳牛、役牛、豚、緬山羊、雞、兎
5、生活改善展示会
6、研究会青年部改良展

秋季芸能文化展

小山町文化祭行事の一環として左記のように文化展が行なわれますので、一般の参加、見学を歓迎いたします。

主催　小山町芸能文化連盟
期日　十一月三日～五日
　（但園芸部の菊花共進会は七日迄）
会場　第一会場―役場別館
　第二会場―音淵公民館
参加部門
　俳句　園芸　華道　書道
　写真（以上第一会場）
　絵画（第二会場）
賞品＝町長杯・議長杯があり、各部門別に朝日、毎日、読売、東京、静岡、日本経済、各新聞社から楯の寄贈があります。

母子愛育会の誕生近し

母子健康センターの用所ととも に、その設立を期待されていた母子愛育会も、十月八日と田中県主事と、向井保健所長を交えての婦人会幹部による準備会と、仝廿二の規約制定により愈々その誕生も目近に迫った。

○寄生虫の駆除

せっかくとった栄養も寄生虫に吸われてしまい、その上病気にまでなってはたまりません。

十一月中に寄生虫の一斉駆除をいたしますので御協力下さい。

○ねずみの一斉駆除

俗に「ねずみ算」ともいわれるように、ねずみの繁殖ははげしいもので、したがってそれによる被害は全国で年間千億円といわれます。それぱかりでなく病気の媒介もする動物です。根

伊勢湾台風義援金品受付状況（34.10.22現在）

1．義援金

㋑各区内一般103,285円
㋺個人及団体201,323円
合計304,608円

個人及団体の内訳

団体	金額
小山町婦人会	41,895
小山むつみ会	2,400
成美小学校6年5組青木崇君外45名	1,000
日幸産業株式会社従業員一同	2,000
上野農事研究会（睦会）	500
富士学校	150,778
計	198,573
〈個人〉	
音洲　中西行也氏	300
菅沼　岩田学氏	500
音淵　無名氏	1,150
無名氏	800
計	2,750

2．義援品

種別／名称	衣類 点	食糧品	用品その他 学
各区内一般	3,634		72
鮎沢寮 泉沢富美子氏外四号室一同	54		
仝 藤田イワ氏外2名	16		
須川寮自治会代表米山きみ子氏	633		60
成美小学校			1,416
小山町婦人会		米1石5斗8合	
門前社宅一同		米及麦1斗9合	
茅沼白瀬信代氏	14		
緑ヶ丘尾花藤雄氏	29		
北郷小学校	28		76
計	4,408	1石6斗1升7合	1,627

3．金品の送り先

区分／県別	衣類 点	食糧品	用品その他 学
愛知県	3,085	1石6斗1升7合	1,627
三重県	882		
岐阜県	441		
計	4,408	1石6斗1升7合	1,627

お　礼

皆さんの御協力によりまして上記のような好成績をあげることが出来ました
紙上で厚くお礼申上ます　　町長

土木事業を通じて小山町の発展に寄与したい

沼津土木事務所長　水野敏綱

四月赴任以来早や半年、やっと二市三町二カ村殊に小山町の隅々まで知ることが出来ました。

七号台風被害調査のため町内中小河川を町当局の御案内でみて回ったおかげです。

さて小山町は最近特に交通量の著しい増加をみつつあります。唯今、富士吉田、小田原線中須走地区(十一月末完工予定)東京沼津線中一色地区（年内完工予定）の舗装工事中ですが、この二重要幹線の舗装及び改良を是非在任中に完了したいと思っております。

特に東京沼津線の内未舗装部分については昭和三十五年度には完成致す所存です。

河川については、鮎沢川を中心にした各水系は台風の度毎に相当な被害をうけ、三十三年二十一号台風本年度七号台風と、相次ぐ被害は、公共土木関係だけでも二億五千万円に達し、その復旧については、出水前に五〇%の完成を目指して現地工営所を督励しております。鮎沢川につきましては、今まで行なわれております原形復旧工事を一歩進めて、再度災害を被らないような復旧工事を行なう所存です。

この他町内には県道三九籾改良改修堰堤工事など各年継続事業として実施する河川が沢山あります。これらに微力を尽して小山町の発展につくしたいと念願しておる次第であります。

面積に於て管内の二一%を占めている小山町に県でも小山工営所を設け十一人の職員が日夜勤務しております。

町民の皆様の御協力を得まして、皆さんの御希望を十分に満足させる事が出来るように努めたいと思います。よろしくお願いいたします。

グレーダー作業中の一色地区

ローラ作業中の須走地区

赤い羽根募金

中間報告（10.27現在）

285,731円

現在皆さんの御協力により，上記の金額に達しました。まだ目標額には遥かに遠いのですが未納の部落もあります。お願いする法人関係の所もありますので是非今後の御協力によりまして目標額を突破したいと思っています。

見事な赤ちゃんたち

十月六日、沼津労働会館にて於て行われた県国民保険連合会駿東富士支部主催赤ちゃんコンクールは各市町村よりの優秀児五十五名出場入賞者十三名の中に本町須走の外川きよみちゃんが見事に入りました。（写真は外川きよみちゃんとお母んの倫子さん）

十月二日、御殿場保健所で行われた仝所管内乳児コンクールでは、出場六十六人入賞十人の内三人迄小山町須走の右の三人が占めました。（写真は右から曾根幸子ちゃんとお母さんの延子さん、星野洋子ちゃんとお母さんの幸江さん、土山郁雄ちゃんとお母さんの国子さん）

○狂犬病予防注射

近く御承知の秋季の狂犬予防注射を行います。生後九十日以上の犬は是非行って下さい。

○秋季大掃除

自十一月廿五日～
　十二月十五日

気よくその駆除につとめようではありませんか。

近くその方法などをお知らせしますので御協力下さい。

明倫小学校「こども郵便局」

大蔵大臣賞を受く

明倫小学校こども郵便局が、このほど大蔵大臣賞を受けました。同郵便局は、児童の貯蓄精神の涵養と、金銭に対する正しい認識を深めるため、昭和二十三年十二月一日、校内に設置され、現在は預金総額三、一九七、九五四円を数えるまで内容充実、湯山礼先生、富川勝則、両先生の指導のもと、局長、岩田衛君（六年生）をはじめ、局長代理、窓口係、現金係、受払簿係、原簿係と、すべて五、六年生徒の手によって運営されています。

（写真は貯金日の局内風景）

貯金部になって

六年三組　村山　町子

私は、今年初めて貯金部になりましたが、この仕事はほかの部よりもとてもたいへんな仕事だと思いました。そして、貯金日は早く来て短かい時間で仕事をやるのですから、なかなかたいへんです。そしてお金がたりなかったりすると、こまるし、とても気を使う仕事です。でもみんなのために役だつ仕事だと思うといくら時間が短かくても、うれしいと思います。そして大ぜいの人が貯金してくれれば、国のためにもかわいそうなお友達のためにも、なります。

私は、なるべく大ぜいの人が貯金をするようにと、思います。

貯金の係は四つに分れています。一番最初は窓口係で、つぎは現金係、おかねをわけてはんこうをおすしごとで三ばんめにうけはらい係にきて、さいごに、げんぽにわたって、ちょ金通帳の流れさ業はおわりになります。私は四つの仕事のうちの、原ぼ係という仕事です。うけはらいぼかから来た通帳を、月日とげんきんと合計を出したりパーセントを出したりします。原ぼの仕事は最後の仕事でとてもたいへんで、つらいのですが、こんど初めて大蔵大臣からひょうしょうされたのかと思うと、とてもうれしい事だと思います。

私のつらい事といえば現金と合計があっていないということです。こういうときには何回くりかえしても、あわないのでくやしくてかんしゃくをおこしてしまう時もあります。あっていてもうれしいときのよろこびはたとえようもありません。そして私たち四人が、貯金部になってから、五年の時に、ひきくらべると貯金の成績がよくなってきたので、ほんとうにうれしいと思っています。

ちょきん

一ねん一くみ　みつは　しのりこ

わたしは、まいにち、ごはんのちゃわんとおちゃのみちゃわんをあらってやります。そうすると、おかあさんが、「ありがとう。」といって十円くれます。わたしはかんかんでつくったちょきんばこにもらった十円をいれます。がっこうのちょきんびには、ちょきんばこからだして、もっていきます。

自分達で働き、自分達で考える人間

――成美小学校児童会便り――

☆子供達は力を合わせて行かなければならないとよく知っている。1＋1＝2であるということを、大人に比して知ったたぶりをしたり、口頭で振りかざしはしないが、大人よりは何の抵抗もなく実行をしている。

☆右側を歩くことは、交通安全運動期間中守ればよいというのではなく、通学部の児童が小旗を持ちホイスルをふき、猛進するカミナリ族に、幼き生命を奪われるような犬死はさせまいと、みんなよりは早起きをし、学習の余暇を利用し街頭に立って懸命だ。

☆にわとりを飼い、ちゃぼを飼い、たぬきを飼い、きじを飼い、金魚を飼う。小さな動物を飼育することによって、自然の理を自ら悟る。子供達は言語を知らない動物でも、豊かな愛情溢るる人間を喜び迎えることを、理科の本でならった時よりも身近に感ずる。そして動物を飼育する苦しさも楽しみも飼育部員はよく知っている。

☆ママのお勉強（読書週間で11月9日まで）
「ホホ……ママお勉強だね」
「うん，とりあげたぼくのマンガよんでるよ」

☆「ちりも積れば山となる」一人一人が小遣いを貯え、十円でも二十円でも貯金し、各クラスが貯金率百パーセントめざして張切れば、一日の預金高が、十万、二十万円となり、それが年間いくらになりうか。貯金部の子供はそれをマイクで説く、グラフに表わし、自分達の手による貯金玉を除に高めて行く。

☆PTAの廃品回収に副って、新聞紙一枚でも全校では千四百枚集まり、やがて自分達の福祉に役立つ費用になることを知らせる更生部。花園部員はなれぬ手にくわを持ち、肥料を与え、学校園は四季絶え間なく美しき花々が咲き競う。ちり一つ落ちていない学校をめざして、ほうきの置き場を工夫する美化部。ごみ箱を作ってあげ、ハンマーを片手に渡り板を修理する建設部。

☆男子も女子も白頭布、白エプロン、マスクという服装で身を固め配膳に余念なく、さらにきょうの献立の栄養分析を説明し、あるいはグループごとにテーブルならぬ机の上に飾られた花を中心に、食後のリクレーションの進行に努める給食部。赤十字のマークを胸に、伝染病の予防に、けが人病人の看護にあたる幼き天使達の保健部。世界のニュース、日本のニュース、校内ニュース、音楽鑑賞と文化面を受持つ放送部。読書の秋ぞと一日平均何百人の利用者だと、わがことのように喜び勇む図書部部員の姿。

☆伊勢湾台風！その驚くべき被害とラジオ、新聞で知った掲示部の子供は、それを新聞の切り抜きで教室に再現し、その話題は朝夕の話し合いの時間に取り上げられる。やがて教室の一隅に学用品が少しづつ置かれ、各クラスの意見は、級長副級長各部代表児童会に提案され、全員一致で救援物資の議題が可決され、討議の末、六年生の学年習会に、そのまとめ方、送り方が一任されて行く。他人の苦しみが、自己の苦しみとして感じられ、一人一人の善意は全体の善意としまとまって行く。

☆あどけないかも知れないが、自分達で働き自分達で考える人間になるように、きょうもまた児童会活動がなされている。

NHKより優秀校として表彰された小山中合唱団

小山中合唱団 音楽コンクールで表彰さる

去る九月十九日三島労働会館にて開催されたNHK東静岡地区音楽コンクールに於て出場校九校中入選四校の中二校の優秀校の一として表彰されました。当日の曲目は、

（課題曲）友だちの歌
（自由曲）人魚の夕の歌
〃混声三部合唱〃

小山中優勝す

駿東地区中学校陸上競技大会第十三回大会が十月十一日、長泉中学校に於て行なわれ小山中学校は堂々優勝しました。

男子
百㍍　二位　武藤英一
　六位　大石雅章
二百㍍六位　川合修二
八百㍍一位　佐藤勝美　二、一八、九
　二位　須長徳二
千五百㍍一位　鈴木静雄　四、五四、三
三千㍍　一位　杉崎　昭　一〇、三七、六
八百リレー四位小山中
走巾跳一位　佐藤勝美　五、五九
　六位　岩田思義
走高跳一位　岩田思義　一、五五
　五位　河合思彦
三段跳一位　川合修二　二、三〇（大会新）
一一〇H二位　飛田　充
女子
六十㍍五位　松井ミエ子
　六位　岩田由美子
百㍍　四位　加藤　正子
二百㍍四位　長坂　弘子
　六位　中野希伊子
走巾跳二位　赤平　久子
砲丸投三位　前川智恵子
四百リレー四位小山中
得点と順位
男子　五六点　一位
女子　二四点　三位
総合　八〇点　一位

尚千五百㍍で一位の高橋静雄君は町民大会に於ても青年に伍して堂々優勝した。

豆知識

学者の調べによると、白色人種は人口が倍になるには八十年かかるが黄色人種は六十年、黒色人種は四十年かかる。

アイロンの温度　水を一滴たらしてみて、
①ジュッと音がすると一三〇度　アセテート、ナイロン、ビニロンのブラウス、スカート
②チュッと音がすると一五〇度　絹、レーヨンのブラウス
③チシッと音がすると二百度位　木綿のブラウスワンピース

「結核を日本より一日も早くなくすために」

○結核予防レントゲン撮影
☆十一月二十日～二十八日
☆早期発見より早期治療へと百％の出席をお願いします。
キ結核復十字シール募金
☆十一月一日～十五日
☆結核患者の生活困窮者のために
☆結核予防治療の諸施設のために。

皆さまの御協力をお願いします。

シール封筒一組―二〇円
複十字封筒十枚―二〇円

県下に誇る小山町民体育大会

第七回小山町々民体育大会は健民旗健民杯の贈呈に一層の激励をうけ、秋雨の中にも拘らず意気軒昂、十月十八日午前七時半より豊門グランドにて行われました。当日表彰をうけたのは次のとおりです。

表彰された体育功労者並びに団体

湯山正平氏・室伏孝一氏・勝股朗氏・池谷忠雄氏・山田茂男氏・神保道子氏・富士紡同好会体育部・菅沼北部・藤曲小山西部

（写真は堂々の入場式、選手の宣誓）

頑張れ　国体選手！

第十四回国体出場の本町選手の壮行会は廿一日夕、教育委員会主催の下に多数の来会者を得て盛大に行われました。

（後列右より）
軟式庭球　星　貞監督
挙　杉山　銃登選手
ライフル　樋谷　正治選手
剣　伊藤　道敏男選手
重量挙　村田　勝良選手
重量挙　中村　一哉選手
（前列右より）
ホッケイ　渡辺　啓一選手
漕艇　岩田　友江選手
軟式庭球　落合　日出子選手
軟式庭球　萩谷　章子選手
弓道　渡辺　文子選手

決戦記録

優勝旗及健民杯　足柄

得点表

種目＼部落名	小山東部	小山西部	生土	音淵	中島	湯船	柳島	藤曲	南藤曲	落合	茅沼	北菅沼	南菅沼	足柄	A須走	B須走	南北郷	北北郷
100m(女)	2	15	10	4	18	7	3	12	9	11	17	16	6	13	14	0	5	8
200m(男)	3	8	10	17	4	15	1	13	5	11	2	16	9	18	14	12	7	6
1500m(男)	8	5	14	6	12	2	10	11	9	15	13	3	17	18	0	16	7	4
400mリレー(女)	10	14	0	17	18	0	0	16	7	9	8	15	11	13	5	0	6	12
スエーデンリレー(男)	3	15	17	8	9	2	4	13	14	10	16	5	12	6	0	18	11	7
年令別リレー(女)	6	17	0	11	15	0	0	14	5	9	12	18	8	16	10	0	7	13
〃(男)	7	15	0	14	9	0	0	16	11	10	18	17	0	12	0	0	13	8
総得点	39	89	51	77	85	26	18	95	60	75	86	90	63	96	43	46	56	58
順位	一六	四	一三	七	六	一七	一八	二	一〇	八	五	三	九	一	一五	一四	一二	一一

100m(女)		中島	山崎清子	年令別（女）	婦人会長杯	菅沼北チーム
200m(男)		足柄	渡辺武男	〃（男）	町長杯	茅沼チーム
1500m(男)		足柄	鈴木静雄	自衛隊々員対抗	大会々長杯	第二大隊
400mリレー(女)	理事長杯		中島チーム	富士紡寮生対抗	山下スポーツ店杯	須川寮乙
スエーデンリレー(男)	青年団長杯		須走Bチーム	消防団々員対抗	消防団長杯	第四分団

電気事故による　火災防止講習会

これから冬季、火災シーズンを迎えるにあたって、東京電力サービス係員による電気事故による火災防止講習会が、小山町役場別館前で行なわれました。小山町消防団員をはじめ一般町民が興味深げに見守る中、配線模型による漏電・感電の実験が行なわれました。（写真は講習会の情景）

来町した西独ボーイスカウト

10月8日，7日間の富士山腹の山小屋避難の後元気な姿を見せた，西独ボーイスカウト二名は粕谷隊長等三人の温い手に迎えられ，楽しい一夜を青年訓練所に明かしました。無銭の二人は隊長のあっせんで富士学校ジープに便乗して，東京に向かった。思いがけぬ国際親善風景の一幕だった。（向って右から駿東第二団隊長粕谷隆治主事，デイター・サルツエンベルグ君，副長渡辺照平君，ヨハネス・アスト君，上級班長湯山尚平君）

みんなで守ろう　みんなの道路

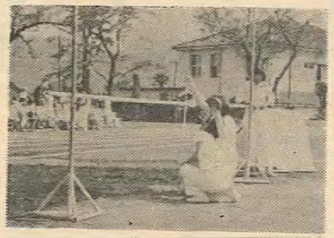
小山町秋季道路愛護日
（午前八時より）

二日　小山、音淵、落合
三日　中島、藤曲、南藤曲
四日　茅沼
　　吉久保、大胡田、用沢、棚頭、中日向、大御神
五日　生土、湯船、柳島、谷戸、大脇、湯船原
六日　宿、向方、桑木、新柴、所領
七日　須走、原向、阿多野
　　下古城、上古城、下小林、一色
八日　菅沼、坂下、富士紡全社宅

樋口一葉研究会を　こだま会で

小山町文化サークルこだま会では、十一月二十九日(日曜日)午後六時より、九時まで湯山浩二氏宅にて樋口一葉研究会を開く。同会では会員以外の参加も望んでいる。

運動会を生徒の手で



企画、運営ともに生徒会による記録会。～北郷中写真部～

「サア頑張れ、アト一回」

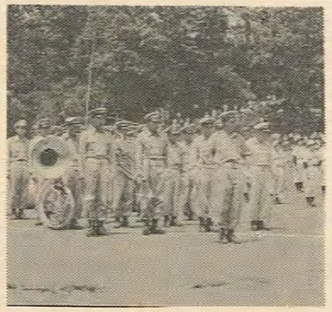
審判も声援を惜まない和気の中の真剣さ。(上)

タケやユキる計るとはタケやユキる計るとは若干勝手が違います。でも結構やりました(中)

砲丸投の測定。監督員も一杯でも「船頭多くて山に上る」ようなことはありません。(下)

活動する自衛隊

民間に親しまれている自衛隊音楽隊



災害復旧に目ざましい活躍をする自衛隊員

納税功労者の　前田弥一さん

柳島の前田弥一（七一）さんは、昭和二十八年納税組合を設立してから七年余、組合長として、その運営、育成に尽力され納税成績が大いにあがり関係当局及び町民の称讃の的となっている。

なお、前田さんは岳人の号をもって俳人としても知られている。

酪農経営着々進む

去る三月本町五ヶ年計画の一として取り上げられた稲の単作から酪農への発展は着々としてその歩を進め普及員の指導と組合員の団結は次々と実り前途に明るい希望の光を投げたかくて国有乳牛の導入体勢は進み遂に九月二十四日待望の導入預託式は行われた。

○優秀乳牛現わる

十月八日千本浜に於て行はれた駿東畜産農業協同組合連合会主催乳牛共進会に於て本町上野義雄氏飼育のラッキードコロニー・キーノーター号はホルスタイン種未経産部十七頭中，断然優等賞をかち得，組合員の間に大きな希望と自信を与えた。

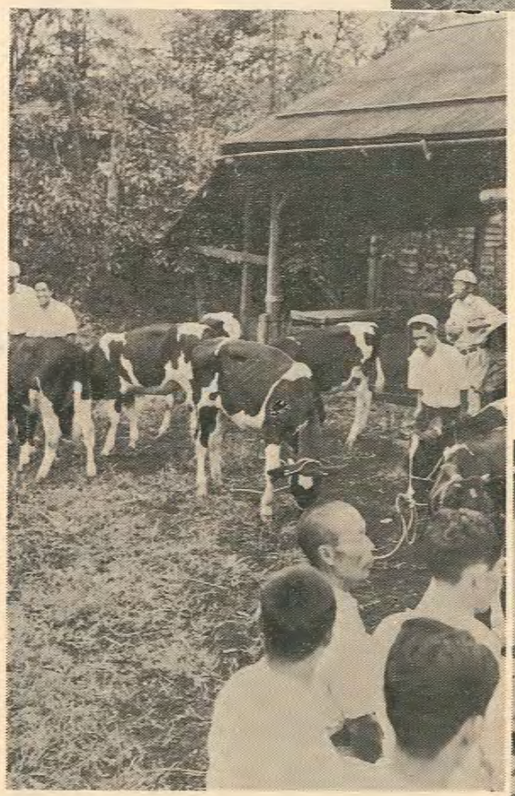
○酪農経営改善推進協議会生まる

飼育戸数百廿一戸，乳牛頭数百六十六頭を有する本町では農林省の改善指定町村とされたのにこたえ，生産コストの引下を目標に去る十月二十三日小山町酪農経営改善推進協議会が発足し，愈々経営改善の推進に拍車を加える事になった。

役員下の通り

会長	町長	鈴木繁氏
副会長	町議会議長	室伏武氏

↑大御神地区の牧草栽培

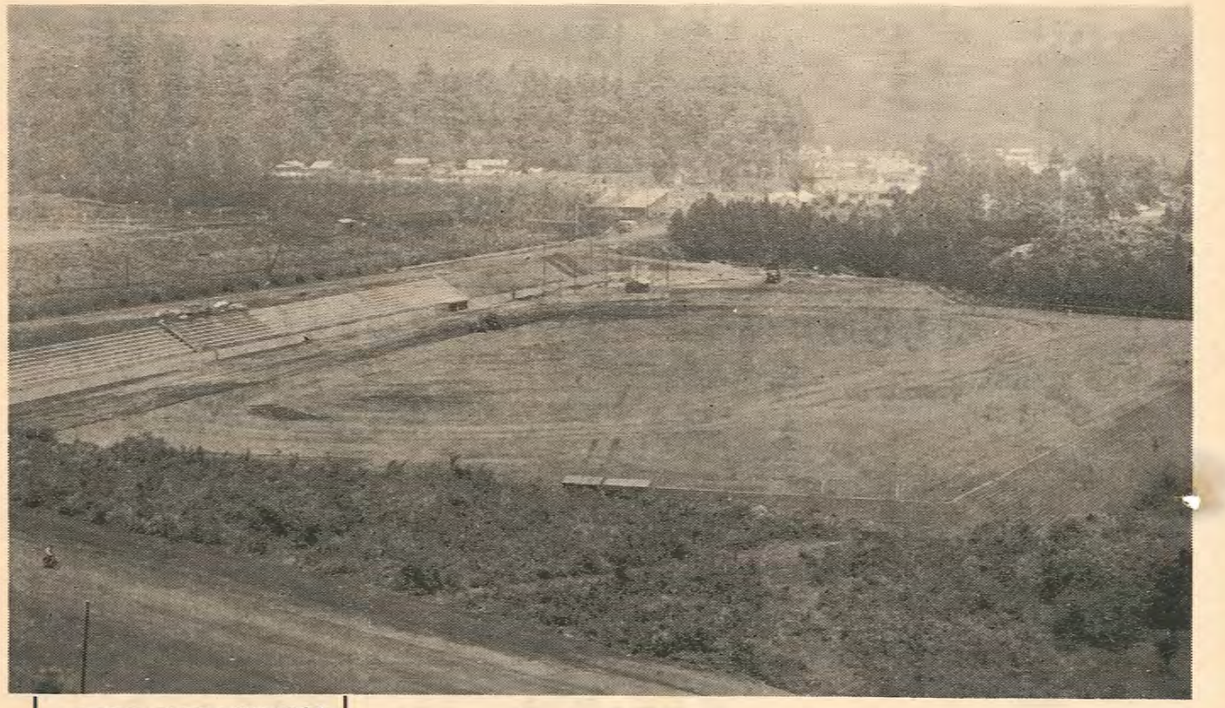


↑国有乳牛の導入なる

→町有酪農サイロの型枠つくり（八月）

↑湯船原の開墾状況

優等賞のラッキードロニー
キーノーター号と喜びの上野氏夫妻
←



富士総合グランド

このグランドは富士学校後援会の事業として，自衛隊の作業により，昭和34年4月25日着工。6月6日完成し，総面積25,000平方米であるスタンド，収容人員は約1万で，自衛隊員の体育場としては勿論，小山町民各位の利用も出来るので，その使用については須走支所に問合せて下さい。

便利手帳

バイクの取扱方に就て

「家の発動機が始動しにくいだけど」と，この間百姓家の小父さんが尋ねて来た。耕耘機の発動機だが，バイクにしてもエンヂンが始動困難なのは一番困るものだ。そこで始動困難な場合どうしたら良いかをお知らせしましょう。エンヂンの点検順として最初に圧縮の具合，次に点火，次に燃料関係といわれこの三調子が基本ですからその順に点検するのですが最初の圧縮は先ず急激な故障は無いものと判断できます。つまり古い疲れたエンヂンでなければこの第一の圧縮に関しては殆んど点検の必要がありませんが，第二の条件「点火」これが往々にしてあり勝でつまらない原因で修理屋迄車を押して行く場合が多いのです。ですからエンヂンが始動しなかったら点火栓（プラグ）を外して火花の出ることを確めることが一般的第一条件です。この火花はシリンダーの中では外した時よりも圧縮圧力の妨害で弱くなりますから外気で発生できる火花間隙の約½分程度の火花間隙であれば大体着火できるものと思えば良いと思います。

強くキックしてやらなければ始動しない場合等は高速廻転で発電機を廻さなければ火花がプラグに飛べないこと（その他にも理があるが）ですからこんな時はプラグの間隙を三割方狭くしてやって見て下さい。面白いように始動します。あまり狭いと高速回転で着火しないことがありますからこの点も注意して

その他種々原因もあるでしょうが，誰でも直接手掛けられる点としてはやはりプラグでしょう。始動困難の場合，キャブレーターを分解したり調整する必要は水が溜ってない限りありませんから，直ちにキャブレーターをいぢりだすのは全く愚で

短歌

娘を案じ夜の外出避けよとふこまごま書きし父の文はも　八巻幸子
幾年かとだえてありし友の文母となる日の近きを告げ来　稲葉美代子
酒飲めば心乱るる子の性をさとせし母に抱かれし遺骨　岩沢一郎
東西に旅行せし友より貰いたる羊羹の味それぞれにして　名取緑
公徳心もたざる人等去りゆきてこの公園に散りし紙屑　芦沢省子
動めのこと今日は忘れて和み会ふ主任の声も酒に酔ひて　佐田し
潮の香はなけれど親し芦の湖にわが故里の海しのばれて　石森敏子
喧嘩せしことのみ記憶に残る兄祝詞を言ひて何故かさびしも　桐山喜美子
ほろ酔いて浪曲語る叔父のそば坐しゐる叔母は吾に微笑む　山本恵美子
わが訪へばその妻を誇り語る師よ恋愛中の写真を見せて　金子八重子

郵便貯金で災害の復興に協力しましょう

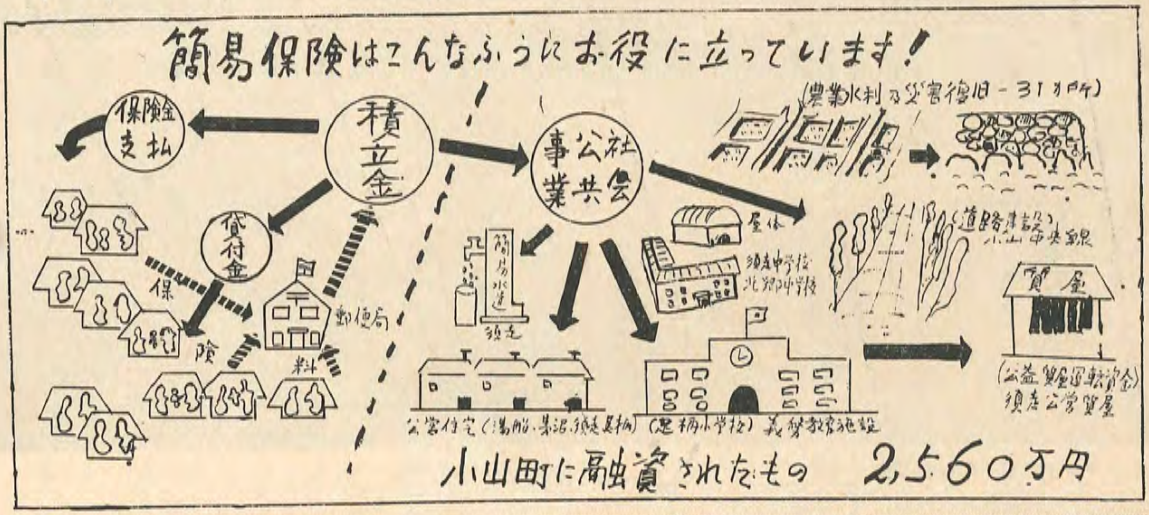
郵便貯金のお金は社会公共のために使われます。このたびの伊勢湾台風の災害にも、いち早く融通され、大きな働きをしています。そこで郵便局では

郵便貯金で災害復興

の運動をつづけております。一日も早く明るく復興できますよう、ぜひ皆さまのご協力をお願いします。

郵便局の定額貯金

安全無税で利子がよい
十万円が十年で十八万円余にもなる



富士紡句会句集

毎日の話題一度は菊のこと　田代通山
ばら蒔きの踏み入りがたき蕎麦の花　小宮青花
家の前田の刈られあり子等遊ぶ　尾崎白魚
木犀や油拭せし診療所　湯山豊泉
秋晴れの水尾引く家鴨真白に　岩田沐人
秋日和眩しみ檻の獅子やさし　岩沢露萩
いただきし妙法華寺の菊膾　田村よしを
新米と云はれ頂くお腑かな　室伏利行
農婦等の同じ早さに稲を刈る　長田種夫
一尾だに太き秋刀魚を選び買う　田代一寒

誌名「おらが町」にきまる

当選者は米山さん

先に「町民の皆さんの広報だから、皆さんに名づけ親になっていただく」という主旨から広報誌々名を一般募集したところ、二百点余を数える応募があり、編集局としては熟慮討議の結果、須走の米山孝さん案の「おらが町」が、素朴で明るい愛町精神の発露があるという点で、当選と決定、小山町広報誌名として採用しました。

当選者の言葉「誰の町でもない、小山町は小山町民一人々々のものだという気持から考えたのです。誰でも自分の町は可愛いし、誇りたい、誇れる町にしたいと思うのは当然、そんな気持から考えました。採用されて嬉しいです」（**写真は喜びの米山さん**）

混合気。この三大条件を覚えて整備に万全を期せば、貴方のバイクは快適に走るでしょう。

（つづく）（渡辺モーター提供）

す。ガソリンをプラグの取付穴から数滴流しても始動する筈です。

強い圧縮。強い火花。適当な

編集後記

○菊の香高き「文化の日」皆様のお手元に小山町広報「おらが町」創刊号をお届けします
○次号からはタブロイド四頁で続刊して行きますが、今回は創刊号を祝う意味で、増頁一〇頁としました。
○肩のこらない読み易い広報という編集方針で出発しましたが、まだまだ独自の編集スタイルを完成するまでは道遠しの感があります。今後の編集途上皆様のキタンのない御高見給わらば編集員一同幸甚に存じます。
○投書を歓迎します。宛先は小山町役場内広報課。ただし、中傷や噂をもとにした投書ではこまります。事実に立脚した建設的な御意見を歓迎します。すぐれた御意見は編集部で選衡の上広報誌上に発表させてもらいますが、御希望により誌上匿名可なるも、原稿には住所、氏名、明記されたし。不明な投書は取上げません。
○月を逐って次々と発行いたしますので綴込んで御保存をお願いします。

表紙「おらが町」の題字は鈴木町長、カットは二科会の俊鋭信時次郎画伯です。